

## 平成21年度 13環境モデル都市の主な取組実績

### 太陽光発電

- 〈家庭〉・堺:1,200世帯 ・横浜:923世帯  
・豊田:871世帯 ・京都:431世帯  
・飯田:イニシャルコストゼロ制度新設
- 〈学校〉・横浜:63校(H22.6までに全校の4割に)  
・北九州:61校(H23.3までに全校に)
- 〈その他〉・北九州:商店街ジョイントアーケード  
・千代田:千島ヶ淵ポート場



太陽光ジョイントアーケード(北九州)

### 公共交通

- ・京都:地下鉄終電全方向接続”シネレラクロス”  
地下鉄待ち時間半減(8→3-4分)
- ・富山:LRT環状線化(日本初)  
空白地帯にコミュニティバス28路線導入
- ・北九州・豊田:HVバス3台



LRT(富山)



各地のエコハウス

### エコハウス

- ・北九州・水俣 } エコモデルハウス建設
- ・飯田・宮古島 }
- ・下川
- ・橿原:ライフサイクル・カーボンマイナス・モデル住宅
- ・北九州:市営住宅260戸長寿命化

### LED等省エネ街灯

- ・街灯:千代田(約1,400灯)、帯広(約1,400灯)
- ・防犯灯:横浜(1.1万灯)、飯田(約3,000灯)
- ・堺:臨海地区の工場照明に10万個使用
- ・北九州:中心市街地に集中導入

### 市民による取組

- ・下川:CO2削減コンテスト(優勝者はバイオマスタワーへの転換等で6割削減)
- ・富山:「チーム富山市」1.8万人
- ・京都:環境家計簿新規1.8万人(累計3.7万人)
- ・横浜:小学生夏休み取組(167校、3.1万人)

### 次世代自動車

- ・豊田:PHV公用車7台で市内企業カーシェア  
太陽光式充電21基(日本最多)
- ・京都:充電設備40基  
EV公用車5台で市民カーシェア
- ・北九州:市・民間で燃料電池車3台  
パイプライン延伸し、水素ステーション設置

### バイオマス燃料

- ・下川:バイオコクス技術実証終了  
ヤナギエタノール抽出技術調査開始
- ・ペレット製造設備整備:京都、帯広、富山
- ・京都:ガソリン150万ℓをBDFで代替
- ・帯広:廃食油13万ℓをBDF化  
E10特区申請で国検討前倒し

### 森林・植樹・緑化

- ・橿原:建設業とのコラボで作業路約31km開設  
間伐805ha
- ・豊田:間伐約1,500ha、林道等約18km開設
- ・市民植樹:横浜(40万本)、北九州(11万本)
- ・京都:23事業所で壁面等緑化計約720㎡
- ・北九州:3事業所で屋上緑化計約720㎡



校庭の芝生化(京都)

### エコツアー

- ・宮古島:視察者約1,300人
- ・下川町:視察、ヤナギ里親ツアーに計約600人
- ・横浜:道志村・飯田市等と連携  
(ツアー:約300人、フォーラム:約1,100人)
- ・橿原:森林セラピーモデルツアーを実施
- ・北九州:内外の学校・幼稚園60校・143学級



ヤナギ里親ツアー(下川)



コミュニティサイクル(富山)

### 面的取組

- ・下川:地域熱供給システム(木質チップ式)導入
- ・コミュニティサイクル
  - ・堺:450台
  - ・富山:150台
  - ・飯田:130台
  - ・北九州:116台
  - ・千代田:オフィス街社会実験
- ・千代田:地域冷暖房プラント2基新設